

金城大学同窓会

《会報誌 第15号》 2021年12月発行号



《同窓会活動報告》

- 令和3年度役員会 開催報告

《令和3年度 大学同窓会 総会・交流パーティー 開催報告》

《各方面で活躍する同窓生》

《大学行事報告》

- 令和2年度金城大学卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式
- 令和3年度 入学式 ● 公開講座 ● 金城祭
- 北國健康生きがい支援事業 ● 第15回保健・医療・福祉創造フォーラム

同窓会活動報告

令和3年度役員会 開催報告

《第1回役員会》

令和3年6月19日(土) 14時00分～14時35分

【議題】

前回役員会へ令和2年3月27日(土)～
議事録確認

1. 令和3年度 役員の改選

濱田会長から、令和3年度の役員の改選について会則第5条に基づき、令和3年3月31日で任期満了となっている河合副会長、柳島副会長及び偶数卒業期生の委員に引き続き委嘱することの説明があった。また、新委員として18期生及び新幹事として7名を会長より委嘱することの説明があり、全会一致で承認された。

2. 令和2年度 事業報告・決算報告

町野幹事から、令和2年度 事業報告・決算報告について、上田会計監事及び山谷会計監事による監査の結果、会計処理が適正であったことの説明があり、全会一致で承認された。

3. 令和3年度 事業計画・予算

町野幹事から、令和3年度 事業計画・予算について説明があった。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった交流パーティーは、今年度はオンラインを利用して開催を予定しておりその分を計上していること、その他会員数増加に伴う経常的な予算を計上していることの説明があった。

4. 交流パーティー

中村委員及び町野幹事から、交流パーティーについて説明があった。7月初旬に同窓生に対し交流パーティーの案内チラシを送付する。

《金城大学同窓会事業計画》

- 第1回大学同窓会役員会 6月19日(土)
- 大学同窓会役員総会 10月16日(土)
- 金城大学交流パーティー(オンライン)
(ピング大会予定)
- 第2回大学同窓会役員会 12月初旬
- 会報誌発行 12月下旬
- ゼミ代表者説明会及び役員選出 2月上旬
- 第3回大学同窓会役員会 3月中旬

交流パーティー計画

- 交流パーティー案内発送 7月上旬
- 交流パーティー実行委員会(適宜)
- 交流パーティー案内発送 8月下旬
- 交流パーティー(オンライン) 10月16日(土)

その他

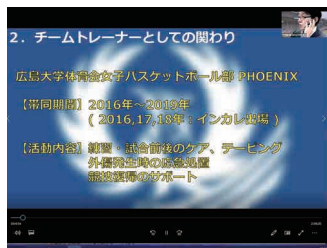
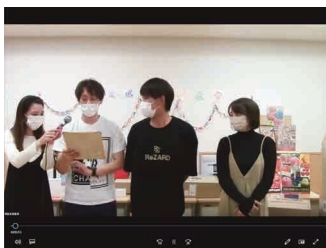
- 金城大学学生支援協賛
- 同窓会活動助成
- 金城祭における大学同窓会ブースの設置

令和3年度 大学同窓会 総会・交流パーティー 開催報告

10月16日(土)に、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて、「金城大学同窓会 交流パーティー」が開催され、卒業生45人、教職員7人の参加がありました。

はじめに、濱田陽介会長(1期生)より日頃の大学同窓会運営へのご理解ご協力に対し、謝辞がありました。また、加藤理事長及び前島学長からビデオメッセージをいただきました。濱田会長議長事進行のもと、役員会総会にて審議、承認された事項について報告がありました。

引き続き、行われた交流パーティーでは、同窓会実行委員会が中心となって司会進行しました。今回初めての企画として、卒業生による講演会を開催しました。濱田会長と竹内さん(医療健康学部卒)から自分の研究発表やこれまでの自分の人生を中心にお話いただきました。そのあとは、オンラインピング大会を開催しました。オンラインということもあり、戸惑う場面もありましたが、終始スムーズにそして楽しく開催されました。



予算・決算（令和2年度決算・令和3年度予算）

一般会計

(単位:円)

収入の部	令和2年度決算			令和3年度予算
	予算(A)	決算(B)	差引(B-A)	
会費	6,060,000	5,600,000	▲460,000	6,782,000
雑収入	100,300	35	▲100,265	300
前年度繰越金	5,735,230	5,735,230	0	6,568,464
合計	11,895,530	11,335,265	▲560,265	13,350,764

一般会計

(単位:円)

支出の部	令和2年度決算			令和3年度予算
	予算(A)	決算(B)	差引(B-A)	
会議費	50,000	19,975	▲30,025	50,000
交通費	150,000	7,000	▲143,000	100,000
交流パーティー運営費	0	0	0	1,000,000
金城祭補助費	0	0	0	300,000
新型コロナウイルス支援金	1,300,000	1,300,000	0	0
会報誌制作費	700,000	592,360	▲107,640	1,000,000
ホームページ制作費	150,000	132,000	▲18,000	150,000
名簿管理費	200,000	117,718	▲82,282	200,000
通信費	2,200,000	935,934	▲1,264,066	2,500,000
雑費	300,000	161,814	▲138,186	300,000
同期会開催助成金	300,000	0	▲300,000	300,000
事務費負担金	500,000	500,000	0	500,000
特別会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
予備費	5,045,530	0	▲5,045,530	3,950,764
合計	11,895,530	4,766,801	▲7,128,729	13,350,764

特別会計

(単位:円)

収入の部	令和2年度決算			令和3年度予算
	予算(A)	決算(B)	差引(B-A)	
特別会計繰入金	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
利息	2,335	1,890	▲445	2,000
前年度繰越金	27,940,832	27,940,832	0	20,242,722
合計	28,943,167	28,942,722	▲445	23,244,722

支出の部	令和2年度決算			令和3年度予算
	予算(A)	決算(B)	差引(B-A)	
新型コロナウイルス支援金	8,700,000	8,700,000	—	—
予備費	—	—	—	23,244,722
合計	8,700,000	8,700,000	0	23,244,722

※【一般会計】(収入の部)合計11,335,265円－(支出の部)合計4,766,801円＝6,568,464円を次年度繰越金とする。

※【特別会計】(収入の部)合計28,942,722円－(支出の部)合計8,700,000円＝20,242,722円を次年度繰越金とする。

令和3年度役員

会長	濱田 陽介 (1期生)	副会長	中野 雄介 (1期生)	河合 直人 (8期生)	柳島 優奈 (16期生)
会計監事	上田 良和 (1期生)	山谷 聡美 (4期生)			
委員	内島 一憲 (1期生)	今村 裕子 (1期生)	紺 昇平 (1期生)	園谷 準 (1期生)	赤津 慎太郎 (2期生)
	久田 緑 (2期生)	寺井 紀裕 (2期生)	川口 雄幸 (3期生)	川嶋 玲子 (3期生)	田中 宏治 (3期生)
	七野 澄麗 (3期生)	山下 和恵 (3期生)	安土 貴子 (4期生)	今田 志未 (4期生)	林 裕也 (4期生)
	赤木 由未子 (4期生)	庄田 紋子 (4期生)	清水 敦子 (4期生)	岩城 涼子 (5期生)	山崎 舞 (5期生)
	越村 知恵 (5期生)	高橋 里枝 (5期生)	松下 早希 (5期生)	池上 実希 (5期生)	辰田 沙弥香 (5期生)
	花井 友美 (6期生)	稲葉 文香 (6期生)	大久保 朋美 (6期生)	早崎 久穂 (6期生)	高橋 孝明 (6期生)
	西村 仁美 (6期生)	坂本 千夏子 (6期生)	荒木 友希 (7期生)	土田 行美 (7期生)	成川 千絵 (7期生)
	西川 美香 (7期生)	鷹合 いつか (7期生)	澤田 竜之介 (8期生)	西谷 彰紘 (8期生)	青木 由依 (8期生)
	竹田 圭佑 (8期生)	鷺田 恵 (8期生)	岩田 めぐみ (9期生)	北村 允人 (9期生)	劔村 祐依 (9期生)
	藤川 彩 (9期生)	中佐 武尊 (9期生)	濱 星美 (9期生)	藤川 諒也 (9期生)	田中 貴大 (10期生)
	前田 静香 (10期生)	廣岡 恵莉香 (10期生)	岩上 倫太郎 (10期生)	橋本 千晶 (10期生)	池田 光次郎 (11期生)
	櫛引 敏裕 (11期生)	谷内 奈津美 (11期生)	三平 拓矢 (11期生)	村澤 卓朗 (11期生)	椎木 祐希 (12期生)
	山本 有佳里 (12期生)	柏木 久夏 (12期生)	墨谷 沙紀 (12期生)	和田 卓也 (12期生)	東木 悠樹 (13期生)
	吉藤 大貴 (13期生)	青山 祥子 (13期生)	岡田 智成 (13期生)	中村 瑤 (13期生)	角出 遙 (14期生)
	太田 圭一郎 (14期生)	坂本 恭一 (14期生)	前田 祐希 (14期生)	吉田 友稀乃 (14期生)	嶋 穂乃花 (15期生)
	畑谷 淳平 (15期生)	福田 優香 (15期生)	成 進二郎 (15期生)	堀田 菜月 (15期生)	堂前 達也 (16期生)
	池田 舟平 (17期生)	林 千香子 (17期生)	山本 宏樹 (17期生)	近藤 啓司 (17期生)	中西 泰志 (17期生)
	山田 康貴 (17期生)	石田 梨乃 (17期生)	三浦 萌子 (17期生)	不破 奈々英 (18期生)	竹内 美侑 (18期生)
	井上 真徳 (18期生)	藤岡 愛理 (18期生)	本馬 旭 (18期生)		

幹事 松下 高信、斎藤 修啓、岡村 綾子、小島 聖、川形 金子、谷口 佳奈恵、松山 哲也、町野 圭亮、米澤 愛

各方面で活躍する同窓生

患者様のさまざまな側面を知り 課題解決のための支援につなげる

私が医療ソーシャルワーカーとして勤務している「こしの内科クリニック」は、9割が透析患者様という小規模なクリニックです。職員と患者様が全員顔見知りで、アットホームな雰囲気の特長となっています。「すべてのかかりつけ患者さまをすべての職員で診る」という当院の理念に魅力を感じて、ここで働きたいと思いました。実際、職種の垣根を越えて全職員で患者様に対応しており、日々さまざまな人生に關わることに大きなやりがいを感じています。透析治療には1回4時間・週3回の通院が必要になるため、課題を抱えている方や支援が必要なケースが多くあります。そうした患者様の相談を受けて、利用できる福祉サービスを紹介したり、転院が必要な場合には他院との連絡・調整なども行っています。

金城大学では、国家試験に向けてゼミの仲間たちと切磋琢磨しながら勉強したことが、一番の思い出です。その甲斐あって、ゼミ生全員が社会福祉士と介護福祉士のダブルライセンスを取得できました。試験問題とは違って、この仕事に正解はありません。それぞれに必要な支援・プロセスは全く異なりますから、常に患者様のいろいろな側面を知り、さまざまなパターンを考えて支援しています。これからもたくさんさんの経験を積んで、支援者として、人間としてより成長していきたいです。

随念 和香子さん

【医療法人瑞穂会
こしの内科クリニック】
社会福祉学部
社会福祉学科
令和元年度卒業 17期生



人と人とのつながりを大切に 一人ひとりに寄り添う保育を

幼稚園の頃から出身園である福光青葉幼稚園の礼拝などに参加していた私は、小学生の頃にあたたかい雰囲気や優しい先生方に憧れて幼児教育の道を志すようになりました。金城大学での4年間を振り返ると、国家試験に向けて友達みんなと勉強したこと、ボランティアサークル「Mix Juice 100%」や音楽部での活動などが、真つ先に思い浮かびます。

現在は、福光青葉幼稚園に年中クラスの担任として勤務しています。大人の発想にはない子どもならではの考えや遊ぶ姿に触れて、新しい発見と驚き、この仕事の面白さを実感する毎日です。私が思いを巡らせて考えた遊びの環境で、子どもたちが主体的にのびのびと遊んでいるのを見ると大きなやりがいを感じます。また、昨年の運動会では先生に付き添われて頼りない足取りで走っていた子どもが、今年はリレー選手として全力で走っているのを目にするなど、子どもたちの成長を保護者の方と共有できる喜びもあります。仕事を通して私が常に心掛けているのは人と人とのつながりを大切に、一人ひとりに寄り添うこと。子どもたちはもちろん、保護者の方々の思いを知ること・伝えることの難しさを感じることもあります。が、「先生が担任で良かった!」と言ってもらえるような保育をしていきたいです。

神田 郁美さん

【学校法人福光キリスト教学園
認定こども園 福光青葉幼稚園】
社会福祉学部
こども専攻
平成30年度卒業 16期生



退院後の生活までを見据えて 最適なリハビリテーションを

理学療法士を志すようになったのは、陸上部で短距離走をしていた中学時代でした。ケガをして地元の整形外科に通院していた時に、担当してくださった理学療法士の方との出会いがきっかけです。その優しさに憧れて「私も、あんな理学療法士になりたい!」と思ったのです。金城大学では、1・2年生の頃に全身の筋肉や骨の名称を覚えるのに苦労したことが思い出されます。夜遅くまで友達と励まし合いながら、必死に暗記していたのが懐かしいです。

私は現在、浅ノ川総合病院の急性期病棟で、主に脳卒中など中枢疾患を発症して間もない患者さんのリハビリテーションを担当しています。当院は地域に根付き、急性期から在宅まで幅広い医療を担っています。コロナ禍の影響で十分な臨床実習ができなかった私にとって、新人教育制度が整っているのも心強いです。まだ経験が浅いこともあり、それぞれの患者さんに応じた治療や目標を考えることに難しさを感じていますが、患者さんの表情を読み取るなどコミュニケーションを大切にしています。「おかげさまでよくなりました!」と言ってもらえた時は本当に嬉しくなります。今後、地域リハビリテーションについても知識を深めて「退院後の生活までを想定したリハビリテーション」が提供できる理学療法士になりたいです。

板井 春菜さん

【医療法人社団浅ノ川
浅ノ川総合病院】
医療健康学部
理学療法学科
令和2年度卒業 18期生



中嶋 惟貴さん
【アルペン
リハビリテーション病院】
医療健康学部
作業療法学科
平成28年度卒業 14期生



私が勤務する「アルペンリハビリテーション病院」は、回復期から生活期までの施設・サポートが充実している民間病院です。脳血管疾患や運動器疾患、廃用症候群などの高齢の患者さんが多く、そうした方々に退院後の生活に向けたリハビリテーションを提供しています。常に心がけているのは、患者さんの話を聴くこと。お一人お一人の気持ちを考えながらリハビリテーションを進めていくことが大切であり、また一番難しいところだと感じています。

現在、金城大学の大学院で勉強させてもらっており、将来的には教員の道に進みたいと希望しています。現場で働くことも続けながら、教員として後進の育成にも貢献できればこの上ない幸いです。

作業療法士に興味を持ったきっかけは、高校時代に受けた職業適性検査です。適性の1位に作業療法士が挙がっていて、自分でいろいろと調べていくうちにリハビリテーションという仕事が面白そうだと思うようになり、作業療法学科の1期生として金城大学に入学しました。勉強は予想以上に大変でした。特に3年次の評価実習ではそれまでの学びが通用せず、現場の厳しさを痛感させられたことが強烈な印象として残っています。学業以外では、友達のアパートに集まり酒を飲んで盛り上がったことなどが懐かしく思い浮かびます。

患者さんの話に耳を傾け、それぞれの気持ちを考えながら、最適なリハビリテーションを提供

本馬 旭さん
【白山石川医療企業団
公立つるぎ病院】
看護学部
看護学科
令和2年度卒業 18期生

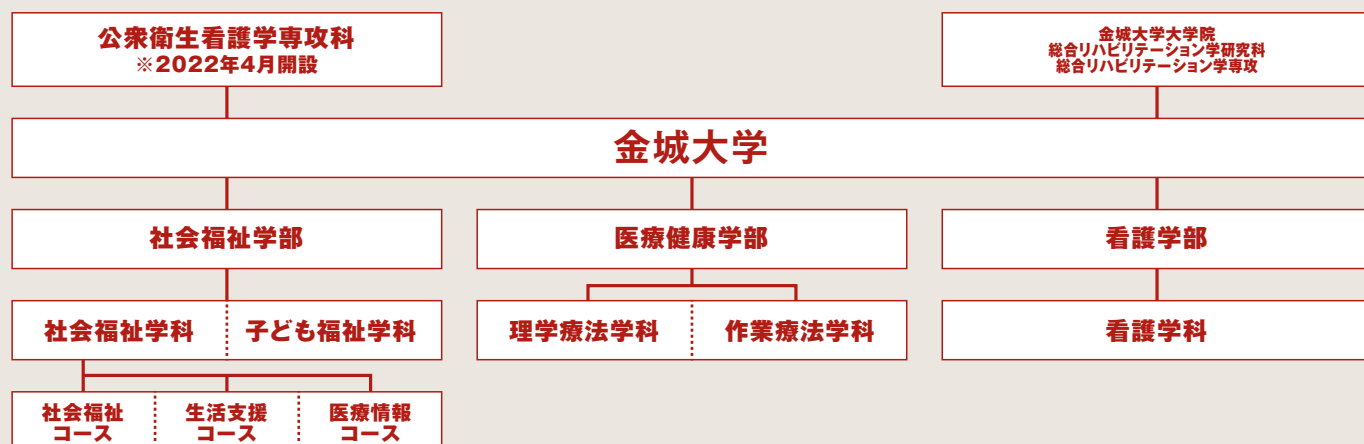


大学時代はコロナ禍の影響で実習がオンラインになるなど、なかなか実地の経験が積めない特殊な状況でした。キャンパスに集まることのできなかった時期もあり、友達とスマホで連絡をとり励まし合いながら国家試験の勉強に取り組みました。今思えば、そんな友達がいなかったら大変な実習や国家試験を乗り越えられたのだと、感謝の気持ちでいっぱい。そのおかげで、中学生の頃からの夢だった看護師になることができ、現在は公立つるぎ病院の回復期リハビリテーション病棟に勤務しています。

当院では地域に密着した看護を目指しており、私がやりたかった方向性に合っていると思い就職を決めました。担当する病棟の患者さんのほとんどが高齢者で、「孫と同年代だ」と言われることもしばしばです。他の病棟と比べると、注射や点滴などの処置が必要な方は少なく、自分で動ける方が多いため転倒しないように安全な環境づくりに留意しています。また、退院後も通院が必要な場合には、患者さんやご家族と相談しながら、私たち看護師だけでなく多職種スタッフでサポートしていく体制を整えています。想像していたよりも多忙な毎日ですが、患者さんからの「ありがとう」の言葉を励みに、理想の看護師をめざして二つの経験を積み重ねていきたいです。

**地域に密着した看護ケアをめざして
いろいろな知識・経験を積みたい**

令和3年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧



2021年3月 卒業生の進路結果

(令和3年4月1日現在)

社会福祉学部

社会福祉学科

介護職	19人
支援員	10人
医療ソーシャルワーカー	4人
製造技術職	3人
総合職	5人
営業職	5人
販売職	6人
医療事務職	9人
事務職	5人
公務員	2人
教員	3人
計	71人

医療・福祉	1人
建設業	1人
金融業	1人
卸・小売業	10人
運輸業	4人
情報通信業	1人
不動産業	1人
飲料サービス業	1人
複合サービス業	1人
サービス業	2人
計	23人

公務員	2人
教員	3人
計	5人

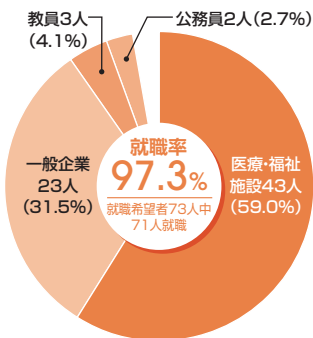
高齢者施設	19人
障害者(児)施設	10人
社会福祉協議会	1人
病院	13人
計	43人

大学院	1人
計	1人

就職率 97.3%

卒業生	77人
就職希望者	73人
就職者	71人

就職率97.3% = 就職者数71人 ÷ 就職希望者数73人 × 100



社会福祉学部

子ども福祉学科

保育士	12人
(※内民間企業保育)	3人
幼稚園教諭	1人
保育教諭	15人
相談職	1人
接客員	1人
医療ソーシャルワーカー	1人
営業職	2人
計	33人

医療・福祉	3人
製造業	1人
物品賃貸業	1人
サービス業	1人
計	6人

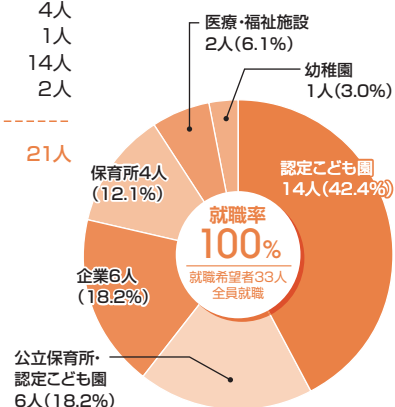
公立保育所・認定こども園	6人
計	6人

保育所	4人
幼稚園	1人
認定こども園	14人
医療・福祉施設	2人
計	21人

就職率 100%

卒業生	34人
就職希望者	33人
就職者	33人

就職率100% = 就職者数33人 ÷ 就職希望者数33人 × 100



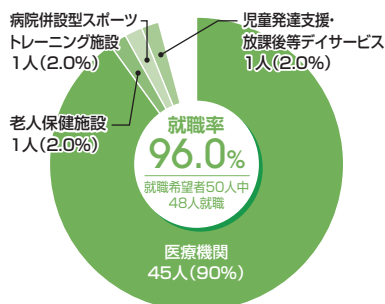
医療健康学部

理学療法学科

理学療法士	48人
計	48人

医療機関	45人
老人保健施設	1人
病院併設型スポーツトレーニング施設	1人
児童発達支援・放課後等デイサービス	1人
計	48人

専門学校	1人
計	1人



就職率 96.0%

卒業生	58人
就職希望者	50人
就職者	48人

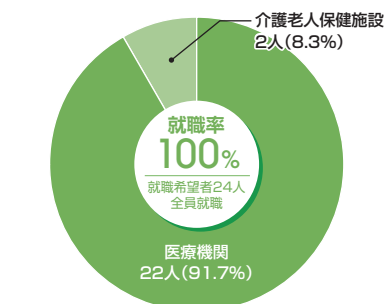
就職率96.0% = 就職者数48人 ÷ 就職希望者数50人 × 100

医療健康学部

作業療法学科

作業療法士	24人
計	24人

医療機関	22人
介護老人保健施設	2人
計	24人



就職率 100%

卒業生	25人
就職希望者	24人
就職者	24人

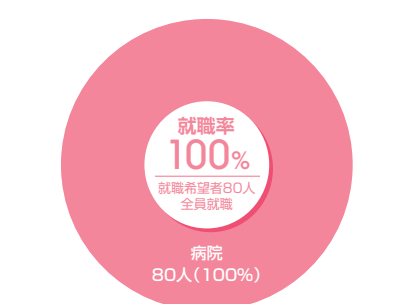
就職率100% = 就職者数24人 ÷ 就職希望者数24人 × 100

看護学部

看護学科

看護師	80人
計	80人

病院	80人
計	80人



就職率 100%

卒業生	85人
就職希望者	80人
就職者	80人

就職率100% = 就職者数80人 ÷ 就職希望者数80人 × 100

大学行事報告

令和2年度金城大学卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式

令和3年3月18日



新型コロナウイルスの感染拡大から、本学ではかけがえない節目の行事である卒業証書・学位記授与式への対応を慎重に検討してきました。結果として、安全を考慮し、当日は形式を変更し、本学学内で卒業生（社会福祉学部111人、医療健康学部83人、看護学部85人、大学院修了生5人）と教職員のみで挙行了しました。卒業生一同は、学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

令和3年度入学式

令和3年4月1日

4月1日（木）に、入学式が本学学内にて挙行され、社会福祉学部124人、医療健康学部94人、看護学部85人、大学院総合リハビリテーション学研究所2人の総計305人が入学し、大学生活の新たなスタートを切りました。

加藤真一理事長が告辞、前島伸一郎学長が「多くの人の人生を豊かにするために、広い見識を持つて一生懸命学んでほしい」と式辞を述べ、続いて祝辞が披露されました。最後に、新入生を代表し、社会福祉学部の新田くるみさんが



が「Withコロナ」の中でも幅広い教養と福祉、医療に関する知識・技能を学び、心豊かな人間性を養うことで少しでも貢献できるような人になりたい」と抱負を述べました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内で検討を重ね、新入生及び保護者の皆様の安全を考慮し、規模を縮小して新入生と教職員のみで実施しました。

公開講座

令和3年5月15日～9月25日

「金城大学・金城大学短期大学部公開講座」を実施しております。今年度はコロナ禍であることから、5月15日から9月25日にかけてオンデマンド配信にて全14講座を開催しました。本学が持っている教育資源だけでなく、外部講師による「白山市の魅力」やオンデマンド配信ならではの趣向を凝らした講座となりました。オンデマンド配信であることから遠方の方からも多数のご視聴がありました。

金城祭

令和3年10月17日

令和3年度の金城祭は、コンセプトに「大学、短大の壁なく学生みんなが楽しめる金城祭」、「Break Out! コロナを超えた新しい金城祭へ」をスローガンに新型コロナウイルスの影響を受けオンライン配信となりました。

北國健康生きがい支援事業

令和3年9月25日

北國新聞社との共催事業として「北國健康生きがい支援事業」を実施しています。今年度は、9月25日に医療健康学部・永井将太教授による「現代日本人に必要な身体の使い方―一流スポーツ選手の身体の使い方から学ぶ―」をテーマに開催いたしました。

第15回保健・医療・福祉創造フォーラム

令和3年11月20日

11月20日に北國新聞社と共催する「第15回保健・医療・福祉創造フォーラム」を、本年度は「健やかな長寿社会を生き抜く」をテーマに、講演会とシンポジウムが行われました。コロナ禍により高齢者等の外出自粛を余儀なくされる状況となり、特に高齢者の身体不活発を招くと同時に、心身機能が低下するフレイルの高齢者を増加させることにもなりました。そのため、今年度は、withコロナ時代を健やかに生き抜き、今後の長寿社会のあり方を問うために、フレイル対策や運動介入のトップオナーである国立研究開発法人国立長寿医療研究センターの荒井秀典理事長と同日ハビリテーション科大沢愛子医長を講師に講演いただきました。



退任教職員のご案内

看護学部の濱田珠里助手が令和2年7月末で、社会福祉学部の下村有子教授、小林千恵子教授、福永肇教授、金城智代講師、宗末勝信特任講師、医療健康学部の澤俊二教授、高畠利一特任教授、看護学部の林雅佳子教授、藤田三恵教授、中野元助教、事務職員の細川外志男法務本部長代行（法人本部）、寺西哲秀事務局長、石黒亜希主任（教学支援部）、岡田友紀さん（教学支援部）、永原菜実さん（教学支援部）が令和3年3月末で、社会福祉学部の濱東千恵美講師が令和3年9月末で退職されました。

卒業後の証明書交付について

卒業後に発行可能な証明書

卒業後、本学にて発行可能な証明書は下記の通りです。

名称	手数料／1部	備考
卒業証明書	100円	
学業成績証明書	200円	
社会福祉主事任用資格単位修得証明書	200円	
卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書(*1)	200円	社会福祉士の国家試験受験専用
教員免許申請用学力に関する証明書	200円	申請免許種ごとに必要(申請時に免許種類を明記のこと)

*単位修得証明書は任用資格取得に必要な科目の単位を修得したことを証明するものです。
*左記以外のものは申し込み前に、教学支援部までお問い合わせください。
(*1)社会福祉士の国家試験を受験しなかった方が、国家試験を受験する場合に必要。一度受験した方は受験票のコピーなどで再受験が可能ですので受験時にこの証明書は必要ありません。

申し込みについて

原則として、申し込みは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

下記のものを大学事務局《申し込み先》宛に送付してください。

- ① 証明書手数料分の切手。
- ② 送付先郵便番号・住所・宛名を明記した返信用定形外封筒(角形2号)。
*定形外郵便料金+簡易書留分320円、郵送料分切手を貼付け済み。
速達希望ならば+260円。
- ③ 右記《記入必要事項》を記載した便箋等。

b) 窓口の場合

窓口で証明書の申請、または、受取る場合は名前と生年月日が分かる身分証明書(運転免許証・健康保険証等)を持参の上、所定の申請用紙に必要事項を記入の上、代金をあわせてお支払いください。身分証明書を提示できない方からの申請は受け付けることが出来ません。

《記入必要事項》

- 1.氏名・生年月日
- 2.入学及び卒業の年月
- 3.学籍番号(わかれば記載願います。)
- 4.請求証明書名と必要部数
- 5.提出先(必要部数毎に明記してください。)
- 6.必要理由(理由によって様式が異なる場合があります。)
- 7.連絡先(昼間連絡可能な電話番号。)

《申し込み先》

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200
金城大学 教学支援部 Tel:076-225-3449(直通)

*a)記載事項に不備のあるものについては、受け付けることが出来ませんので、ご了承ください。

受取りについて

受け取りは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

郵便での申込の際は必ず、返信用封筒に定形外封筒を使用し、右記のとおり定形外郵便料金と簡易書留分(320円分)の切手を返信用封筒に貼付してください。

例:証明書3通までの場合、返信用封筒には定形外郵便料金120円と簡易書留料金320円分の切手、合計440円分の切手を貼ってください。

原則として、繁忙期及び特殊なものを除き、到着後3日以内(日・祝日を除く)に発送します。

また、お急ぎの場合は往復とも速達(+260円)にしてください。

b) 窓口の場合

直接取りに来られる場合には、発行を確認の上、来学してください。なお、その場合は身分証明書(運転免許証・健康保険証等)を必ず持参してください。代理受領の場合も本人が事前連絡の上、代理人が身分を証明できるものを持参してください。

《返信用定形外封筒の郵送料金(参考)》

申込数	簡易書留 (定形外郵便料金+320円)	速達郵便 (+260円)
証明書3通まで	440円	700円
証明書5通まで	460円	720円
証明書7通まで	530円	790円

*上記料金は2021.10.1現在のものです。

*郵便料金についてはあくまで目安の料金です。
不足が生じた場合は、後日請求させていただきます。

注意事項

- 原則作成までに3日(日・祝日を除く)かかりますので、できるだけ余裕を持ってお申し込みください。
- 原則到着後3日(日・祝日を除く)で発送します。お急ぎの場合は、申し込み・返信用とも速達分の切手を貼ってお送りください。
- 電話やFAX、電子メールでの申し込みや研究室等への依頼は受け付けません。
- 進学の調査書については、別途お問い合わせください。
- 大学院受験用調査書や英文証明書等特別に作成を要するものは、2週間以上の余裕をもって申し込んでください。
- 英文証明書を請求する場合は、氏名のローマ字綴り(「日本国旅券」等公的証明書に登録したもの)を必ず書き添えてください。
- 証明書は在学当時の姓で作成しますので、改姓された方は必要に応じて、戸籍抄本や市区町村の証明書等を先方へ併せて提出してください。

卒業生の施設利用



図書館

卒業生も図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません)

《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)

※必ず事前に図書館(直通:076-276-4412)までご連絡ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。

※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。

※利用日・時間についての詳細はホームページをご確認ください。

小講義室・演習室等

卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご参照ください。

同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌第15号を発刊いたしました。ご一読いただければ幸いです。
同窓会事務局では、同窓会員の名簿の整備を行っています。行事のお知らせ、会報誌の送付など、同窓会運営に役立てています。

住所等が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会の運営および同窓生への支援以外の目的では使用いたしません。

ただ、交流・パーティーへの参加を呼びかけていただくため、役員に同期の方の連絡先をお伝えすることがありますので、ご了承ください。

今後とも、同窓会の活動にますますのご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

住所変更届
はこちらから



大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

《入試広報部》

フリーダイヤル 0120-276-150

TEL 076-276-5175(直通)

FAX 076-275-4316

E-mail nyushi@kinjo.ac.jp

同窓会HP
はこちらから



金城大学同窓会 会報誌 第15号 令和3年12月25日発行 編集兼発行:金城大学同窓会 事務局

<笠間キャンパス>石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400
<松任キャンパス>石川県白山市倉光1丁目250 TEL 076-276-6630

FAX 076-275-4316
FAX 076-275-6651

<URL> https://www.kinjo.ac.jp/ku/ <E-mail> u-dosokai@kinjo.ac.jp